

4. 磯の生物観察【所要時間 60分～150分 150名】

(1) ねらい 磯の魚貝類や海藻類、カニやイソギンチャクなどの小動物を直接観察することによって、その生態や生活環境を理解し、磯の生物について興味や関心を高めるとともに、海と人とのかかわりや、自然保護の大切さを知らせる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：ハンカチ，筆記用具，ぬれてもよい靴，活動しやすい服装，帽子
- 引率者：班編制（1班5人程度が望ましい）
- 所 員：指示棒，観察資料『松ヶ磯と大島の生物』，水そう，タモ網，箱メガネ，業務用無線，ハンドマイク

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 指定場所で班活動をさせる。
- 活動中，たえず人員を確認し，活動状況に注視しながら事故防止につとめる。
- 引き潮，満ち潮の時刻を事前に確認しておく。
- 磯の生物の採集は禁じられているので動植物の保護につとめさせる。

(4) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 集合，点呼をする。	5	●体調の悪い時は，引率者に申し出る。	●つどいの広場 ●『松ヶ磯と大島の生物』 ●記録用紙 ●ハンドマイク ●指示棒 ●水そう ●タモ網 ●箱メガネ ●スケッチ用具一式
2. 観察資料を受け取り，磯へ移動する。	5		
3. 観察についての説明を聞く。	10	●磯に近い砂浜に集合させ，観察場所や観察についてのねらいや活動上の注意事項を説明する。 ●波にたえず気をつけ，海藻で滑らないよう安全に注意する。	
4. 観察する。 (1)ミニ水族館をつくる。	25	●貝類，海藻類，小動物などを観察する。 ●資料の『松ヶ磯と大島の生物』を参考にして磯の生物の名前や生活している場所などを調べる。	
(2)磯の生物の名前や生活している場所などを調べる。	115		
(3)磯の生物のスケッチに挑戦する。			
5. 発表しまとめる。	15	●ミニ水族館の名前づけ，観察したこと，感じたことなどを発表し，磯の生物についての興味関心を深める。	

